

別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
御船町	古閑迫・古閑原・餅畑	R4. 3. 9	R3. 3. 31

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積（a）	7, 427
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	5, 043
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	2, 111
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	249
ii うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	1, 863
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	200
（備考）	

2 対象地区の課題

圃場に行くまでの農道が狭く、圃場面積も狭いため、大型機械の搬入が困難であり導入に踏み切れない。
水路が土水路であるため、大雨等による災害被害を受けやすい。
10年後の集落内の農業について問題視している者が8割以上ではあるが、具体的解決策を見いだせていない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

作成エリアの設定については、地域の代表者会議により隣接する3地区で作成する。
今後5年間で流動化が予定される農地については、現在の耕作者の状況等、集落での話し合いを重ねながら決定する。
先進的機械の導入を積極的に行う。（ドローン、モア）

（参考）中心経営体

中心経営体数	現状の耕作面積	農地の引き受けの意向
64人	5, 043 a	5, 243 a